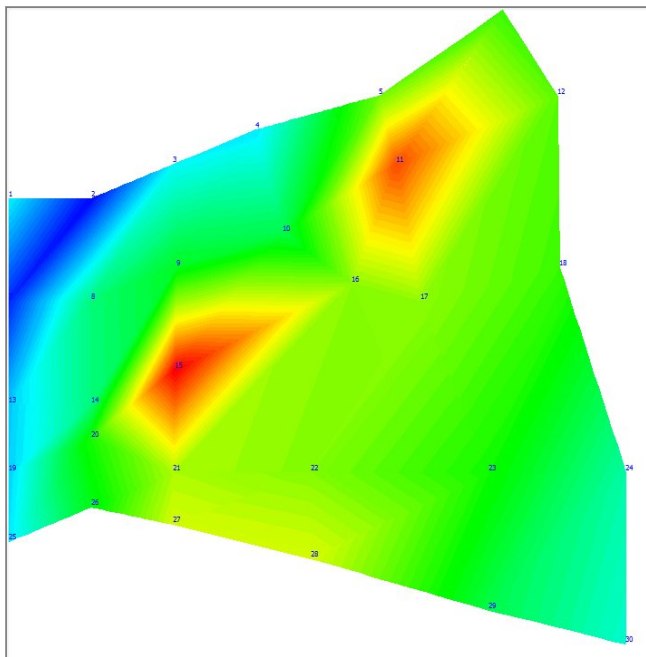


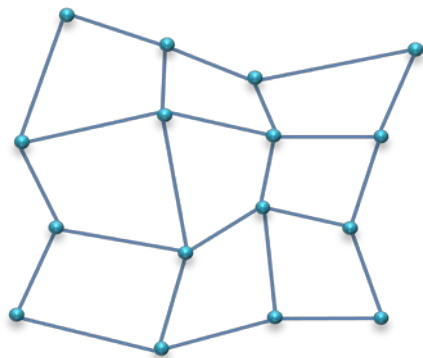
sup_contour (Version 1.0.0) レファレンス マニュアル

プラグインの概要

等高線図（コンター）を描画します。

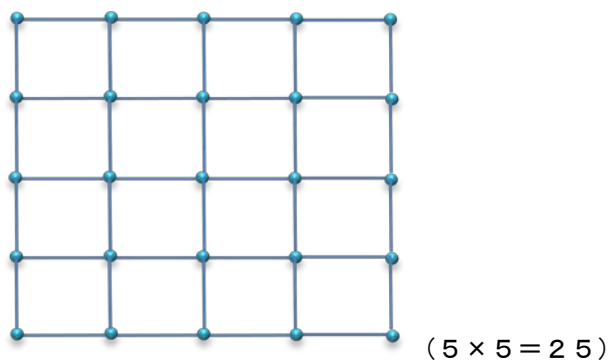


データには座標を指定する事で柔軟な点位置を指定可能ですが、データは2次元格子として列挙する必要があります。

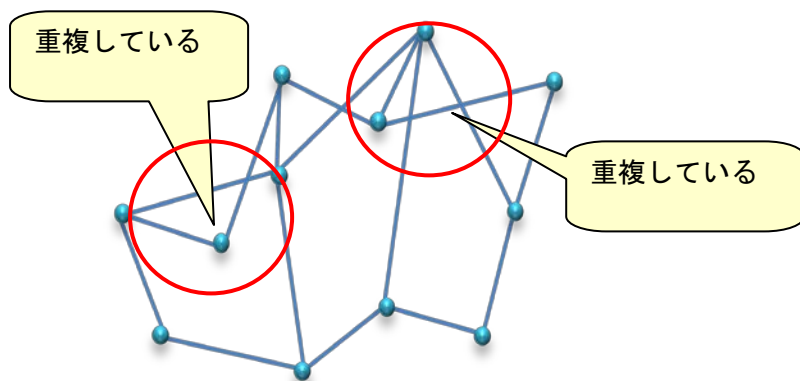


そのため、いくつかの制限もあります。

データの個数 = X方向格子数 × Y方向格子数 であること



座標点が結ぶ領域同士が重複しないこと



などがあります。

設定方法

オプション (option define)

データ範囲自動設定

プラグイン側でデータをチェックし、**データ最小値**、**データ最大値**を自動的に設定します。

データ最小値

データ最大値

描画する等高線のデータの内、描画対象になるレンジ幅を設けます。この範囲の外になる値の場所は最小値もしくは最大値の色で埋められます。

座標点を表示する

データ値を置いた座標点に配列番号をプロットします。

塗りつぶしする

カラーグラデーションを描画します。

等高線を描画

カラーグラデーションの上にコンター線を追加します。

等高線に着色する

コンター線を描画する時、線の色をデータ値に合わせ、変更します。

等高線間隔

コンター線を描画する時、コンター線のピッチ幅（データ最大-最少間を指定幅刻みで描画）を指定します。

パラメータ (parameter define)

Key=Value 方式で各項目を 1 文字列の中に指定します。

xMax, yMax

データの 2 次元格子情報です。各 X 軸方向、Y 軸方向の格子数を指定します。データの個数は $xMax * yMax$ と同じ必要があります。

入力必須項目です。

Data

描画対象になるデータをもつアイテムのラベルを指定します。データとして選択可能なのは線分（パスライン）描画命令（PLOT_PATH、PLOT_POLYGON、PLOT_POLYLINE、PLOT_BEZIER、PLOT_FREESURFACE）で、パラメータを持たない場合は描画せず終了します。

入力必須項目です。

ColorTBL

塗りつぶし、色等高線を描くカラー色テーブルを指定できます。テーブルはペン番号を指定し、CSV 形式（"1, 2, 3, 4, 5" など）を使用します。省略するとデフォルト設定で描画されます。

入力オプション項目です。